



# 「わが青春つきるとも

## 伊藤千代子の生涯」



奈良県でも、民主的諸団体に呼びかけられ映画「伊藤千代子の生涯製作・上映運動実行委員会(仮称)」準備会が開かれることになりました。

この映画は、治安維持法犠牲者である伊藤千代子の生涯を正面から取り上げる作品です。治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟とこうざしを共有する諸団体・個人との共同の取組として位置付けられ、映画製作支援活動が全国的に発展しています。

独立プロ桂壮三郎監督によって、映画「わが青春つきるとも—伊藤千代子の生涯—」が、この秋クランクイン、来年の3月完成、5月全国公開の日程で進められています。

### 製作運動すむ

奈良県版  
No. 342  
2021年7月15日

治安維持法犠牲者  
国家賠償要求同盟  
奈良県本部  
〒630-8442  
奈良市北永井町277-3  
田辺実気付  
☎ 0742-61-7194  
振替 0990-2-209460  
治安維持法賠償同盟  
奈良県本部

### われわれの運動の基本

- 一、ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために
- 二、治安維持法体制の復活に反対する
- 三、国は、治安維持法犠牲者に賠償を行うこと  
あつたことを認めること

### 製作・上映県実行委準備会結成へ 8月

- とき 2021年8月7日(土)午後2時~
- ところ 奈良市生涯学習センター
- 議題

映画「伊藤千代子の生涯・上映運動奈良県実行委員会(仮称)」準備会結成について

準備会の呼びかけ人

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟奈良県本部

会長 田辺 実

奈良県アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会

理事長 宮城恭子

同盟県本部は、要旨次のような訴えを県下の民主団体に行いました。

## 来年の5月めざし あらたな意気込みで署名運動の推進を

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟奈良県本部

今年の国会請願は、5月12日にコロナ禍の中首都圏を9都道県の代表64人によって行われました。全国から寄せられた98000人の署名をもって、131議員事務所を訪問し、衆議院78名、参議院42名、合計120議員に紹介議員になっていただきました。昨年より3名増えました。

奈良県同盟は、皆さんから寄せられた署名2556筆(個人2527、団体29)を国賠同盟中央本部に託しました。

憲法改悪阻止、野党連合政権樹立を

菅義偉首相は、4月16日行われた日米首脳会談で、米国の意向に沿って、国民に一層の危険と負担をもたらす軍事同盟強化を鮮明にしました。

集団的自衛権の容認閣議決定、安保法制の整備など一連の“法整備が整えられている”状況の下で、対中国への軍事的対応を強く打ち出したことは重大事態です。

再び戦争と暗黒政治を許さない！運動の重要な一環として私達が毎年すすめている署名運動があります。コロナ禍の下、様々な制約がありますが、全同盟員が日常の活動のなかで署名運動に取り組むことを訴えます。



NHK裁判報告会(6月29日)

NHKには放送法を守る義務があることの確認を求める控訴審第2回口頭弁論が6月29日大阪高裁で行われました。

奈良NHK裁判は2020年11月12日奈良地裁にて①NHKのニュース報道番組における放送法第4条(政治的公平、事実を曲げない、多角的論点明示)遵守義務の確認請求を却下、②放送法第4条に違反した放送により受けた精神的苦痛に対する損害賠償請求(各原告5万5千円)を棄却するとい

公共放送としての在り方を正面から問う歴史的裁判  
「政府の広報機関」化しているNHK 次回控訴審口頭弁論は10月19日

ら田辺実国賠同盟奈良県本部会長に連絡があり、急速、宮城恭子さんら有志が参考し、奈良県でも映画製作・上映運動をすすめることを申し合わせていました。その後、念して、藤田廣登氏を講師に招いて記念講演を行い、映画の「製作・上映運動実行委員会(仮称)の結成」をめざす相談を進める予定でしたが、コロナ禍の蔓延で実行できずいました。

この間全国で運動が進んでいる状態に歩調を合わせるために、この度、田辺県本部会長と宮城恭子ナラーラ理事長らが相談、今回の呼びかけに至ったものです。

宮城さんは、「コロナ禍など様々な困難の中、なすべきことは多いですが、伊藤千代子の映画の製作・上映運動はその中の重要な呼びかけに至ったものです。

いまを生きる若者たちを励まし時代閉塞の今日を撃つ  
監督・桂壮三郎



(写真は20年12月に徳島県で講演する藤田廣登氏)



桂壮三郎氏 内の活動家を怠らず獄中で学習を励ましつづけ支配権力の変節攻撃とたたかい24年の生涯を閉じざるを得なかつた治安維持法の犠牲者。この映画はその正史に真正面から挑むことを目指す作品で必ずやいまを生きる若者たちを励まし、時代閉塞の今日を撃つ力となると確信している。

## 映画「わが青春つきるとも」制作・上映成功へ力合わせて

課題の一つです。筋道をたて相談を進めれば展望を切り開くことができます。力を合わせ取り組みを進めていきましょう」と呼びかけています。

### 「県実行委準備会」結成当日 原作者・藤田廣登氏が講演

8月7日に開かれる「準備会」当日、『時代の証言者

伊藤千代子』の著者・藤田廣登氏が

「なぜ今伊藤千代子の映画化を試みるのか」などについて講演します。

伊藤千代子は、男性中心の黎明期の社会変革運動のなかに躍り出た23歳の女性党員一号ともいえる女性である。千代子は科学的社会主义理論を身に着けた新しいタ

イプの女性活動家であり、活動を始めたばかりの1928年3月15日に大規模治安維持法弾圧検挙者の一人となり、困難な獄中で学習を怠らず獄内での活動家を励ましつづけ支配権力の変節攻撃とたたかい24年の生涯を閉じざるを得なかつた治安維持法の犠牲者。この映画はその正史に真正面から挑むことを目指す作品で必ずやいまを生きる若者たちを励まし、時代閉塞の今日を撃つ力となると確信している。

う不当判決が言い渡されました。

11月月24日、直ちに大阪高裁へ控訴（控訴人110名）し、①原判決を取り消す、

道番組において放送法第4条を遵守して放送する義務があることの確認、③損害賠償請求を求めました。

控訴審第2回口頭弁論では、控訴人準備書面（1）でNHKは放送法に違反する放送を継続していることを繰り返し訴えました。また、今後の審理において、長井暁さん（元NHKチーフプロデューサー）、醍醐總さん（東京大学名誉教授）の証人採用を求める陳述をおこないました。

次回口頭弁論は10月19日（火）14時と決まりました。控訴審では、一般的に、第1回の口頭弁論で結審、2回目で判決が言い渡されることが多く、今回結審されることが危惧されていましたが、審理が続くことになりました。

この裁判は、政権に忖度し、また政権から介入を受け「政府の広報機関」化しているNHKに対して、視聴者・国民がNHKの

公共放送としての在り方を正面から問う歴史的裁判です。

## 塩田一行国賠同盟大阪府本部 事務局長のご逝去を悼む

塩田一行さんが5月6日、コロナによってご逝去されました。74歳。大阪府の医療崩壊のなかにあって、塩田さんがコロナに感染し4月8日に陽性と判明、日々悪化しているにもかかわらず入院できず、家族の必死の訴えで、4月15日ようやく入院できました。

当時は大阪府では、15031人が自宅待機の状態でした。塩田さんは、医療・福祉を削って自公政権、維新府政の文字通り犠牲者の一人です。奈良県同盟にも多大な貢献

塩田さんは、大阪府大東市の市会議員を7期務めたあと、国賠同盟大阪府

国賠同盟奈良県本部会長  
田辺 実

国賠同盟の活動に多大な貢献をされた塩田一行さんのご冥福を心よりお祈り申しあげます。

奈良県同盟の会員拡大で協力しているたり、新刊『奈良刑務所物語』も20冊も注文・普及に取り組んでいたなど多面的に協力していただけてきました。長谷川テルの顕彰事業に大きな役割をはたしている「希望の鳩 ヴェルダマーヨー長谷川テルの歌」の作詞・作曲をしていただいたケイ・シユガーサンを紹介していただいたのも塩田さんでした。

## 「奈良刑務所物語」合評会報告（2）

4月24日開かれた新刊『奈良刑務所物語』治安維持法で囚われた人々の合評会では、主席者のみなさんに発言していただきました。「不屈」には、逐次出席者の発言を掲載します。2回目の今回は、溝川悠介さんの発言を掲載します。

溝川悠介さん

（国賠同盟奈良県本部顧問）

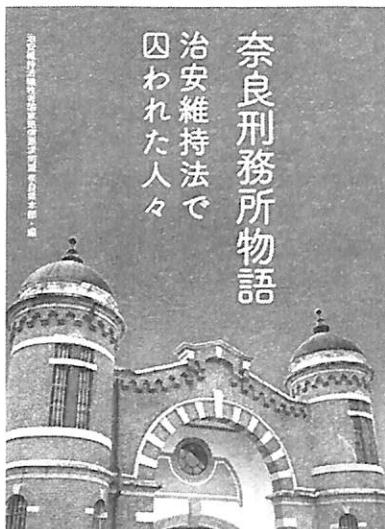
発刊される「大阪外国语大学創立100周年史」に、同研究会代表の「大阪外国语社会科学研究会弾圧事件 100年の時を超えて」も掲載される運びとなっています。

治安維持法の犠牲者の一人であった父と同時代を生き抜いた先人たちの生きざまに強く惹かれて一気に読みました。「般若寺坂」の戎谷春松さん（後に日本共産党副委員長）は父と交流があり、幼いころ年賀状でみた、達筆・墨書きの“戎谷春松”的な字をなぜかよく覚えていました。体験記に

は父の友人の岡橋穂や藤沢彬の名もあり、有名無名の多くの人々の獄中での交流や非人間的拷問、同志のその後の人生なども描かれています。

楠山通氏の「不屈のあしあと」は、独房に閉じ込められた同志間での情報交換の工夫、仲間への思いやり、看守との触れ合い、など読者を和ませてくれます。獄中の春日一松本論争、組合活動論争などは、現在の運動にも通じる問題で興味深いものでした。楠山氏は、1930年の2月事件で検挙され、私もよく知っている階戸義雄さんら数名の父の親友たちもその時検挙されおり他人事とは思えませんでした。本文中に峰一夫メモとして示された全協大阪組織の中に父の名前が出てきたのには驚きました。峰さんは原爆詩人峰三吉の長兄で、戦後自作のお米をお土産に我家を来訪してくれたことを懐かしく思い出しました。

また、楠山氏の手記に出てくる松本広治さんは、父と親交のあつた人です。松本さんは自叙伝『反骨の昭和史』を書かれまし



奈良刑務所物語

治安維持法で  
囚われた人々

たが、奈良刑務所に収監中の親・兄弟との往復書簡も収録されています。

「奈良刑務所物語」は、安保法制、秘密保護法、共謀罪法などが施行され、日本学術會議への人事介入や9条改憲策動など、戦前の戦治安維持法時代への回帰が加速される現代、是非多くの人に読んでいただきたい本で、その普及に取り組みたいと思います。

滋賀県の国賠同盟の島田耕会長から次のような感想が寄せられています。

島田さんは、滋賀県同盟事務局長の西田清さんと相談して、新刊『奈良刑務所物語』を70冊も取り寄せて普及に努力しています。

同盟員の学習用としてだけではなく関心を持つてもらえる労作

国賠同盟滋賀県本部会長 島田 耕

田辺さんや、編集、調査の皆さんのが『奈良刑務所物語』を刊行されました。カラーの表紙も人目をひきます。ありがとうございます。

滋賀の同盟では会員にすすめてひろげていますが、私は友人、知人にも奨めています。一冊は久保一雄さんの息子（故人）の夫に。もう一冊は久保の絵画のコレクター、札幌在住の北のモンパルナスの清水真知子さんには娘さんで画廊のスタッフみずきさん宛でおくりました。いい本をいただいたと喜んでくれました。三冊目は映画（人形アーニメ）の名手の園サトルさんに、彼女と治維法のつながりは、田中隆夫さんからの依頼のつながりで知りました。彼女の父は太田耕士で兵庫で新興教育運動家でした。

そんなことで刑務所本を送つたりしていいた頃、家で文庫本で奈良少年刑務所詩集をみかけたのです。上の娘が図書館から持ち帰っていたのです。どうしてこの詩集をと聞きますと、寮美千子さんを聞きにいった

署名数・会員数の到達 (七月一日現在)
団体署名 ○
個人署名 一〇
会員数 四一六名

（前月比+一〇）

りしていく関心があつたと知りました。私は同盟員の学習用としてだけではなく、関心を持つてもらえる労作と思っています。

また、大坂民衆史研究会発足の時からの友人久保在久さんの研究資料も刑務所本に入っていますね。大阪民衆史研究会副会長の松浦さんが奈良の同盟に紹介した由。

私は同盟員の学習用としてだけではなく、関心を持つてもらえる労作と思っています。

## 堀の内外

私が治安維持法国賀同盟の名称を最初に聞いたのは1970年代後半だったと思います。大阪環状線の玉造駅横の雑居ビルで女性の犠牲者の方からお話を聞いたこと



を強烈に覚えています。その後、「思想月報」や「特高月報」の合本を少し手にしたくらいでした。

それから調査部にお手伝いのつもりで参加し、その一人として名前はのせてもらっていますが、作業に参加したのは途中からで、それも集団作業にはほとんど参加できません。部員と名乗るのは少し抵抗があります。みんなの作業はそれこそ「奈良」

という活字を「特高月報」や「思想月報」から追いかけ見つける姿に感銘しました。今回の作業では「特高月報」にお世話になっていた方の名前を見つけ、犠牲者の姿が身近に感じられるようになります。その方も「奈良刑務所物語」の戎谷春松さんの体験記録にあるように、弾圧とのたたかいのなかにあるのに周りを温かくする人間の厚みのある方で、若い私たち（当時）の愚痴などを聞いてもらいました。

また、奈良少年刑務所看守として父親が勤務していた人の40年くらい前の子どもの頃の写真を何枚か見せてもらいました。そのほとんどに、どこかにレンガの堀が写っています。地域の人の生活に溶け込んだレンガの堀。堀の外では生業をたて、桜を楽しみながら歴史を刻んできました。堀の中で外の世界を引きずりながら、思想犯も少年も一人ひとりの受刑者が歴史を刻んできました。その重い歴史を忘れてしまったら、レンガの堀はただの障害物になるのかかもしれません。

川柳

大和郡山市 杉本英雄

耳かさず前さえも見ずオリンピック

改ざんの隠蔽政権罪深し

金権の腐敗底なし河井しかり

奈良の愚僧

大口の懇意届いて坊守寝込む

役員会全員揃つたパチンコ屋

◇お詫びと訂正◇

「不屈」6月号

1ページ写真説明

竹末黙り竹末勤

3ページ下段 後ろから6行目

7月20日～7月21日

## 編集後記

第5波の予兆を感じる事態にありながら、ただ、「安心・安全」を繰り返すだけで、国民の命を犠牲にしてまで五輪に突っ走る菅政権はいよいよ退場させなければなりませんね。

コロナ禍の困難な中にあっても、着実に製作の取り組みを進められてきた映画「わが青春つきとも 伊藤千代子の生涯」が、いよいよクランクインの運びとなりました。これに呼応して、奈良県でも、映画「製作・上映運動奈良県実行委員会」準備会の結成が呼びかけられました。ここぞ同じくする民主団体・個人が力を合わせ運動を大きく進めたいものです。

『奈良刑務所物語 治安維持法で囚われた人々』の合評会の第2回目の記事と国賠同盟滋賀県本部会長の感想などが掲載されています。それぞれ味わい深い内容です。ぜひ、お読みください。

来年の5月の国会請願めざす署名運動が新たにはじまりました。ひきつづきご協力よろしくお願ひいたします。

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟奈良県本部常任理事会